

第 131 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 23 年 7 月 15 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)、作田 (日本大)、佐山 (防衛大)、

木本 (佐賀大)、竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)

幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

131-1 第 88 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 議事録 (案)

131-2 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画 (一次案)

131-3 平成 24 年度 計測研究会開催予定 (一次案)

131-4-1 平成 23 年 計測研究会開催状況

131-4-2 計測研究会プログラム (7 月開催分)

131-4-3 計測研究会プログラム (9 月開催分)

131-4-4 電気学会 研究会企画連絡シート (11 月開催分)

131-4-5 電気学会 研究会企画連絡シート (12 月開催分)

131-5 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会設置趣意書 (案)

131-6 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

131-7-1 IEEE IM-09 学生発表会に関する内規 (案)

131-7-2 IEEE IM-09 学生発表会に関する賞状の様式

131-7-3 東京支部主催 第 2 回「学生研究発表会」開催および講演募集のお知らせ

131-8 平成 23 年度研究会活動補助金計算書

議 事

1. 議事録の確認

- ・「2. IEEE Chapter 報告」の「募集方法は研究会と同様とする」を削除した後、承認された。
- ・学生研究発表会アワード登録は申請が必要。学生の募集に関しては、開催地の大学の先生にもお願いしたい。

2. 運営委員会報告

田辺委員長より資料 131-1 に基づき運営委員会の報告があった。

- ・震災の影響で全国大会が中止になったことを受けて、関連する規程がなかったため改定を行った。
- ・研究会発表数の減少に対し、研究調査運営委員会での対策検討の要請がなされている。
- ・経営側としては、収支を均衡させたいとの考えがうかがえるが、学生からお金を取ることになってしまい、参加者が減ってしまうのではないかと。
- ・研究者・技術者育成の場である研究会について収支を議論することは適切かとの意見がある。
- ・研究会資料について電子化等の検討がなされている。

3. 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画及び平成 24 年度 計測研究会開催予定

作本幹事より資料 131-2 及び資料 131-3 に基づき、平成 24 年度 計測技術委員会活動計画 (一次案) 及び平成 24 年度 計測研究会開催予定 (一次案) についての説明があった。

- ・見学会については、2回を予定しているが、1回でもよいのではないか。
- ・2回目 の見学会は10月よりも11月のほうがよい。
- ・研究会は年9回の開催を予定している。
- ・9月の東京支部連合研究会に参加する。
- ・遠隔計測というテーマに変えて、リモートセンシングやセンシングデバイスなど遠隔計測を含む新しいテーマを作ってはどうか。
- ・11月の佐賀大学での研究会は、SICE九州支部の共催、電気学会九州支部の協賛で行う。

4. 平成23年 計測研究会開催状況

作本幹事より資料131-4-1から資料131-4-5に基づき、平成23年の計測研究会の開催状況について説明があった。

- ・7月開催の研究会は9件である。
- ・9月開催の研究会は9件を予定している。
- ・1月開催の研究会について、現時点では開催地は未定。

5. 調査専門委員会の設置

岩佐委員より資料131-5に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会についての説明があった。

- ・スマートグリッド特別研究チームとの差別化をしないと同一視される可能性がある。
- ・調査検討事項について、項目ごとに説明を入れたほうがよい。また、海外のスマートグリッドのトレーサビリティについての調査項目を入れてはどうか。
- ・調査検討事項の力については、4.に入れて考える。
- ・人選について、委員長は産総研から、幹事については日電検からを考えている。また、他の委員については10名程度を考えている。

6. A部門誌特集号

白井幹事補佐より資料131-6に基づき、特集論文について報告があった。

- ・編修委員会よりOKが出た。
- ・2月の研究会発表者にアナウンスをする。

7. 学生発表会

大谷幹事より資料131-7-1、資料131-7-2及び資料131-7-3に基づき、IEEE IM-09学生発表会について説明があった。

- ・アワードは10件に対して1件程度とする。
- ・会場は、基本的に大学とする。
- ・博士課程の学生について発表は可能であるが、D1以外の学生については表彰の対象から外す旨を募集要項に含める。
- ・内規(案)において、議長は田辺委員長、副議長は大谷幹事、セクレタリは作本幹事である。
- ・講演の募集について、東京支部の学生研究発表会を参考にする。

8. 平成23年度研究会活動補助金

作本幹事より資料131-8に基づき、平成23年度の研究会活動補助金についての報告があった。

- ・28000円が振り込まれた。

9. その他

- ・田辺委員長より、EINA マガジンの活動紹介記事についてはメールで相談するとの報告があった。
- ・佐賀大での研究会において、基調講演の講演者等は、大谷幹事と木本委員で検討する。

次回予定

日 時 平成 23 年 10 月 14 日 (金)

場 所 未定